

走行チェックシート

日付	2011年5月15日 (日)		時間	~	イベント	2011MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦		
天気	晴れ		マシン	GSX-R1000 L1	ライダー	今野由寛		
コース	名称	鈴鹿サーキット			気温	22	°C	
	コンディション	DRY			気圧	1014	hpa	
	路面温度	45°C	(計測時間)		湿度	27	%	
エンジン	スパークプラグ	NGK R0045Q-10		エンジンOIL	シェルアドバンス ウルトラ10W-40			
	ファイナルレシオ	16 x 42(2.625)						
トランスミッション	1st	B(35/16)	2.19	4th	B(31/21)	1.48		
	2nd	B(34/18)	1.89	5th	B(21/28)	1.33		
	3rd	B(36/22)	1.64	6th	C(32/25)	1.28		
フロント	パーツ名	SHOWA(760mm)		TEN	-10			
	スプリング	10.00	N/m	OIL	SR6 #5			
	自由長	-	mm	油面	170	mm		
	イニシャル	10	mm	残ストローク	mm			
	COMP	-10		突き出し	STDトップブリッジで15mm突き出し mm			
リア	パーツ名	SHOWA(321.5mm)		TEN	-10			
	スプリング	130.0	N/m	残ストローク	mm			
	自由長	-	mm	リンク	STD			
	イニシャル	10	mm	リンクロッド	140	mm		
	COMP(HI)	MIN		車高	STD+22mm ピボット0mm スイング長599mm mm			
	COMP(LO)	-5						
タイヤ	フロント			リア				
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ			
	サイズ	125/80/16.5		サイズ	200/70R420			
	エア圧	2.1		エア圧	1.8			
チェック	順位	14		ベストラップ	2' 13" 307			
	水温	°C		油温	°C			
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km		
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ		

<コメント>

東日本大震災において被災されました、すべての地域の皆様に心よりお見舞い申し上げます。
また、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

お待たせいたしました。ようやく2011年全日本ロードレース選手権が開幕いたしました。

スケジュールが変更になり、開幕戦が遅れて鈴鹿からスタートです。

まずは、昨年の最終戦仕様でスタート。

今年はピッチングを使い車体の動きを出して運動性能を上げていければもっと戦闘力が上がるはず。

そんなコンセプトを持ちつつテストを行いレースウィークへ。

しかし、今回は2&4レースです。毎年路面コンディションの良くないレースです。

4輪車が走行した後にオートバイが走行すると路面に張り付いたゴムの上を走っている状態になり、タイヤのグリップ力が少なく感じてしまいます。
(ライダーはニルニルや、ヌルヌルと表現したりします。)

そんな状況で始まった予選ですが、Q1、Q2と進みましたが残念ながらQ3に進出することが出来ませんでした。

決勝は15番手からスタート。

会心のスタートでコーナーへ。

その後13位をキープ思うようにペースが上がらず、最終ラップのシケインで東村選手にかわされてしまい14位でフィニッシュ。

次回もてぎへの課題の多いレースになってしまいました。

次回のもてぎが終わるともう鈴鹿8耐です。今年は特に暑い夏になりそうです。

次回も応援宜しくお願いします。

ST600クラスでは手島雄介選手がオートポリスから新型GSX-R600で参戦です。

こちらもお応援宜しくお願いします。

レーシングサプライ
畑中 健太郎